

浦和自然観察会

秋ヶ瀬河畔林 ピクニックの森からー

定例自然観察会 報告

第 263 回 (2018 年 2 月 11 日) 参加人数 : 9 人 リーダー : F 氏

テーマ「これがピクニックの森? (不思議な森のベスト 11)」

花も殆どなく、草も枯れ、落葉樹の木々も葉を落とし、又沼地の水の少なくなり、見通しがよくなったピクニックの森、普段の景色と異なる様子を見せた森をじっくり観察しました。

いつもとは反対の方向から周り、まずタチヤナギの倒木を見付け、木の室(噴火口)を発見。これはフクロウが巣にしていたもの。更に森の中では巨木のポプラの高さの図り方をリーダーから教わりました。次に水の干上がった所に来たタヌキ? のケモノ道を確認。ハンノキとエノキの合体(抱擁)、ハンノキの根本にある呼吸株、エノキの兄弟が二本足でくっついたり離れたり(結



「浦和自然観察会」と「ちびっ子クラブ」共催のゴミ拾い

合)、エノキの長年の間に出来た根(奇形)、最後はケヤキの大木(胴回り 288cm、直径 90cm 強)を。普段見られないピクニックの森を満喫しました。引き続き恒例の「ゴミ拾い」を「ちびっ子クラブ」と共催し、公園管理事務所の協力の下実施。参加者 22 人でした。

第 264 回 (2018.3.11) 参加人数 : 10 人 リーダー : Y1 さん、Y2 さん

テーマ「ロゼットの葉を実物大図で記録する」

まず 2 班に分かれ、最初の 45 分で絵を描く対象植物を探す。へ~、ロゼット状又は若い時のオオバコ、オオジシバリ、ノゲシ、ハハコグサ、ハルジオン、ヨモギ、タンポポ、アレチギシギシ、ナガバギシギシ、キンミズヒキ、ダイコンソウ等々はこんな姿をしているのだと驚きつつ、観察・採取する。

その後、桜環境センターに場所を移し、方眼クロッキー紙を 1 枚ずつ配られ、いよいよ実物大図の作成開始。先生役の Y1 さん(ポタニカルアートのプロ)はホワイトボードを使い懇切丁寧に手ほどきを。方眼クロッキー紙の上に葉を置き、点を打ち、印をつける。点を結び輪郭を写し取る。主脈、側脈を描く。細かい作業で眼に自信がない人は大変な作業でした。

その他、Y1 さんから植物の標本画を描く時の注意事項として、

・記録の方法 ・特徴をつかむ観察のポイント ・標本画の決まり事
・野外観察記録の準備 ・採集時必要なもの(地図、カメラ、定規、ピニール袋、カッター、押し葉用台紙とテープ、方眼クロッキー紙、鉛筆 HB~2H、消しゴム、練り消し、定規、ルーペ)等々を教わった。

初体験の人もあり、通常の観察会とは違う、面白い半日でした。



先生役の Y1 さん